

令和7年度第2回坂出市地域公共交通活性化協議会会議録	
日 時	令和8年1月19日(月) 15時15分～16時45分
場 所	坂出市役所本庁舎2階大会議室
出 席 者	(委 員) 土井会長、宮崎副会長、櫻又委員、成澤委員(岡委員代理)、齊藤委員、川滝委員、入江委員、北山委員、上野委員、池内委員、河田委員、山下委員、香川委員、林委員、溝渕委員、宮城委員 以上、16名 (事務局) 政策課 山家課長、松浦課長補佐、亀井係長
欠 席 者	(委 員) 松浦委員、松下委員、浦田委員、瀨崎委員 以上、4名
オブザーバー	山本オブザーバー(四国運輸局)
随行者・傍聴者	4名
議事次第	1. 開会 2. 議題 (1) 令和7年度補正予算(案)について (2) 令和7年度事業の実績報告と分科会実施報告について (3) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について (地域内フィーダー系統)(利便増進計画推進事業) (4) 坂出駅バスロータリー移転に伴う運行計画の見直しについて (令和8年度地域内フィーダー系統確保維持事業に係る計画変更) (坂出市地域公共交通利便増進実施計画の一部変更) (5) その他 3. 閉会

会 議 概 要

(1) 令和7年度補正予算(案)について

発 言 者	発言要旨
事務局	<p>《資料に基づき説明》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内フィーダー系統国庫補助金について、協議会で一括申請する方式となる。それに伴う国庫補助金の受け入れと各運行事業者への支出に関する補正予算案となる。 ・国からのフィーダー系統運行補助については、利便増進実施計画の認定により、通常と比較して、8,645千円増額となっている。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・委員から質問や意見はあるか？
各委員	(特になし)
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・特にないようなので、異議なしということで承認することとする。

(2) 令和7年度運行の実績報告と分科会実施報告について

発 言 者	発言要旨
事務局	<p>《資料に基づき説明》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 2-1 では、令和7年度事業の見直しの内容や、実施段階における具体的な取り組みを紹介している。 ・12月には、交通関係優良団体大臣表彰も受賞した。 ・資料 2-2 は路線別の利用実績推移をグラフで示している。 ・乗務員不足に伴う減便の影響により、全体利用者は減少しているが、一部路線で増加が見られる。 ・収支差赤字額については、物価上昇もあったが、減便した分の運行経費減少がみられるため、全体として減少している。 ・王越線については、路線バスの大幅な減便に対して、デマンドタクシーとの共創による地域交通確保維持を図ったが、路線バスとデマンドタクシーを合算しても利用者が前年度比で減少している。青海行きを廃止・再編した林田循環については、従来と比較して利用者が増えている。 ・デマンドタクシーは、利便性向上施策により、大幅に利用者数が増加している。 ・資料 2-3 では、路線間の比較グラフを示している。 ・資料 2-4 では、月別の比較グラフとなり、令和7年度は、減便の影響で全体として前年度比で減少傾向にあるが、4月5月については、前年度比増加してお

	<p>り、瀬戸内国際芸術祭の影響が想定される。また、8月の増加についても中高生サマーパスの影響が想定される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料 2-5 は TicketQR の利用推移となるが、8月の中高生サマーパスの影響が顕著に窺える。 資料 2-6 は、地域公共交通計画の目標値に対する実績値となる。 分科会においては、バスの利用者数の減少に対して、減便の影響が指摘されていた。 一方、デマンドタクシーについては、利用者数が増加しており、利用者増加により、事業者の予約受付や配車のオペレーションに関する負担が大きくなっているという意見があり、改善に向けた検討が必要と考えている。
議長	<ul style="list-style-type: none"> 分科会について、分科会長を務める宮崎副会長のほうで補足はあるか？
副会長	<ul style="list-style-type: none"> JR に関しては、高松オルネや県立アリーナといった高松駅周辺の大きな変化があったことが、利用者数に影響してくると思われる。JR 四国さんからは、最新の実績では県内利用が増加傾向にあると窺っている。坂出駅までマイカーで来て、坂出駅から JR でという利用もみられるとのこと。 坂出市においては、無料デーをまちなかのイベントに合わせて実施している取り組みを継続していることで、大幅なバス減便があったなかでも、大きく利用者数を減らすことなくきている。 鉄道・バス・タクシーは昔であれば競い合っていたところだったが、今は地域交通のために協力し合っているという姿勢が見られている。
議長	<ul style="list-style-type: none"> 委員のみなさんから、ご意見・ご質問があればお願いします。
委員 (デマンド事業者)	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度、仕様書に基づきプロポーザルに参加し、デマンドタクシーの運行を担っている。 実際に運行してみると、想定通りに運行できた部分、想定通りにできなかった部分がある。 まず、ゾーン制運賃や割引制度について、タクシードライバーが正しく理解し、運用することがなかなか難しい。 また、利用者増に対応するためにシステムを導入したが、坂出の仕組みに上手くマッチしない部分がある。利用者の利便性向上のために、システムで対応できない部分を事務員で対応しているが、それによりコストが増加している。 運行補助について、事後精算となるが、利用者数が増えたことに伴い、売掛金も増加している。補助金収入が得られていない中で、ドライバーや事務員の給与を支払う必要があるため、資金繰りが厳しくなっている。

<p>委員 (バス事業者)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局からの報告のとおり、減便の影響により、全体として利用者数が減少している。 ・一方で、島田岡田線、瀬居線については増加している。瀬居線については瀬戸内国際芸術祭の傾向が顕著に窺え、島田岡田線については、通学生徒が前年度と比べて増加していることが考えられる。 ・王越線については、大幅な減便に対して、デマンドタクシーとの共創に取り組んだ。利用者数は減少したが、デマンドタクシーの利用者も徐々に増えてきている。バス減便により、不便をかけてしまっているが、再編によって、ハローズへの買い物に行きやすくなったことは好評で、ハローズでの乗降が増えている。利用者総数としては減ってしまったが、これまで利用していなかった人が買い物の利便性から新たに利用しているということも考えられる。 ・乗務員の採用はできているが、退職もあり、全体として増えていないのが現状で、なかなか元通りとはいかない状況である。便数が戻らなければ、利用者も増えないと思うので、引き続き採用に努めていきたい。 ・無料デーについては、瀬戸大橋線で特に好評で、利用者から無料デーの実施日に関する問い合わせも来ている。
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者からの意見で数値データからは分からなかったことが、よく理解できた。 ・無料デーについては、他地域でもあるが、坂出市は上手に運用できていると思う。継続することで利用者を増加させる正のスパイラルが実現できている珍しい事例だと思う。この結果は、交通事業者・関係者のみなさんのおかげでもある。 ・他にご意見・ご質問はあるか？
<p>各委員</p>	<p>(特になし)</p>
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ないようなので、この実績状況も踏まえて、次の議題に移らせていただく。

(3) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

発 言 者	発言要旨
事務局	<p>《資料に基づき説明》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先ほどの議題の利用実績も踏まえて、資料 3-1 で地域内フィーダー系統の事業評価について、事務局案をお諮りする。 ・資料に記載の目標値については、令和 6 年 6 月協議会でお諮りした補助金計画時の目標値を記載している。 ・路線別評価で、循環バスについては減便率以上に利用者数が減少したというこ

	<p>とでB評価としている。原因として、単に減便というだけでなく、坂出駅周辺の魅力低下により、まちなかに訪れる本源需要が低下しており、それに伴って派生的需要のバス利用者が減少しているということも考えられる。よって改善点としては、中心市街地活性化公民連携事業との連携など、まちの魅力向上と合わせて移動したくなるまちづくりに努めることを挙げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・王越線(林田循環)については、路線単体で見れば、再編前の青海行きよりも改善が図られている。一方で、エリア全体でみた木沢行きと東北エリアデマンドタクシーの利用者数推移や、ドライバー・事務員の負担に対する運用改善などについて改善点として挙げている。 ・デマンドタクシーについては、区域見直しや増便等により利用者数が増えている。一方で、ドライバー・事務員の負担増加に対する対策や、乗合率向上による待ち時間の増加などに対する理解促進について改善点として挙げている。 ・資料 3-2 は、地域公共交通利便増進実施計画認定団体に対する利用促進等に関する補助金である計画推進事業に関する事業評価案となる。 ・令和7年度の新たな取り組みとして、公共交通タブロイド紙作成によるモビリティマネジメント、効果検証資料作成などがある。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・事業評価ということで、四国運輸局のほうからコメントをいただきたい。
山本オブザーバー	<ul style="list-style-type: none"> ・事業評価の窓口が四国運輸局交通企画課のほうになるので、私からコメントさせていただく。 ・評価内容について、実績データに基づく評価となっており、全体として適切だと思われる。 ・循環バスの減便については、具体的にどれほどの減便があったかを記載いただければ分かりやすくなると思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の点、対応して提出させていただきたいと思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、みなさまから何かあるか？
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・利便推進事業により作成している効果検証資料と、今回の事業評価の内容は対応しているものか？
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・効果検証資料については、令和6年度実績までの検証資料となり、事業評価は令和7年度の評価となるので、実績値は対応していない。 ・令和7年度の効果検証資料については、改めて作成を検討する。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・効果検証資料は、たいへん分かりやすい資料となっているので、ぜひ更新をお

<p>(各委員)</p> <p>議長</p>	<p>願いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他にご質問等がなければ、こちらの案で事務局から提出いただきたいと思いますと思うが、いかがか？ <p>(異議なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでは事業評価案について承認されたものとする。
------------------------	--

(4) 坂出駅バスロータリー移転に伴う運行計画の見直しについて

発 言 者	発言要旨
事務局	<p>《資料に基づき説明》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月協議会において、担当課から報告のあった坂出駅バスロータリーの南口移転について、3/1からの供用開始を予定している。それに伴う運行経路の変更等についてお諮りする。 ・また、運行経路の変更に伴い、6月協議会でお諮りした地域内フィーダー系統確保維持事業に関する計画の一部変更、利便増進実施計画の記載の一部変更が必要になるため、その点もお諮りする。 ・運行経路変更詳細については、運行事業者の琴参バス株式会社から説明をお願いする。
琴参バス	<ul style="list-style-type: none"> ・琴参バスのほうから運行経路の変更詳細について別紙資料に基づいて説明させていただく。 ・現在のバスロータリー北側の駅前通りからバスロータリーに侵入していた路線については、迂回して南口の新バスロータリーに侵入するようになる。迂回により、聖マルチン病院の前を通る系統については新たにバス停を設定する。 ・時刻表は最終調整中のため資料のほうでは記載がないが、時刻表についてもルート変更に伴い若干の始発時分の変更や時刻調整等を予定している。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・委員からご質問等あるか？
委員 (バス事業者)	<ul style="list-style-type: none"> ・運行内容の変更については、先ほど担当から説明させていただいたとおりである。 ・南口のバスロータリーについては、路線バス以外の高速バスや観光バスについても乗り入れることになる。観光バスの枠が現在よりも減っているような形になるので、担当課が異なると思うが、十分な周知をいただけるようお願いしたい。バス協会に周知いただくことで、四国のバス事業者には周知ができると思う。大型バスが集中すると混乱が生じる可能性がある。

<p>委員 (坂出警察)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・また、路線バスのほうが駅の東側から、新南口バスロータリーに侵入するようになる。バスロータリー南側の交差点、また東側のマルチン病院前の交差点について、停止線が少し前方にあり、大型車の右左折が窮屈な場合があるかもしれないと思っている。そのあたりの変更が可能か伺いたい。 ・現在の北口バスロータリーは、バス以外侵入禁止の規制がかかっているが、それでも一般車両の進入が多い。新南口バスロータリーについても、路面表示をいただけるとのことだが、知らずに入ってしまう人もいると思うので、取り締まり等についてお願いしたい。 ・停止線については、坂出市および県警本部も交えて協議をしている。 ・イメージ図のとおり、大型バスの右左折ができるようなスペースを確保した停止線位置を設定している。事前の打ち合わせ済みで、供用開始後に都合が悪いので改めて変更というのは難しいと思う。 ・南口バスロータリーの交通規制については、現在と同様のバス以外侵入禁止となる。一般の方が認識しやすい標識表示に努めるが、現状の北口でも観光客の方等が標識を見落として入っているケースはある。供用開始後は、然るべき取り締まりを実施していく。 ・一般車両の送迎場所については、坂出市から説明いただくのが適切と思うが、別に設定がされている。
<p>委員 (坂出市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般車両の送迎用の乗降場所は既に供用を開始しており、イメージ図の線路南側の部分が該当する。多くの台数は確保できておらず、その分北口で確保する計画となっているが、工事中は混雑することも想定される。ご協力いただきながら速やかに工事をしていきたいと思う。 ・バス協会等の関係者への周知については、具体的にどこに周知するのが適切か等についてご助言いただきながら、実施できればと思うので、よろしく願います。
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県のほうにも調整をお願いする部分が出ると思うので、ご協力をお願いします。 ・3/1 から供用開始ということで、あまり時間もないが、トラブルが生じないようにご配慮をお願いします。 ・工事の前には、コンサルタントなどで、シミュレーションのようなものは行ったか？
<p>委員 (坂出市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細なシミュレーションは行っていない。
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな要素が関わっているので、供用開始後も状況を確認いただき、適切

	<p>にご対応をお願いしたい。</p>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・飯山地域からの坂出駅へのアクセスや、香川県西部から高松駅を目指す際に、坂出駅に車を停めて電車で向かうという話もよく聞く。 ・四国で鉄道を利用する人は、駅周辺に住む人が歩いて行くケースがほとんどというデータがあるが、それでも旅行等で時々鉄道を利用する人は、自家用車で駅まで行ってというパターンが多いと思われるので、駐車場も重要となる。 ・香川県は公共交通網が発達しているが、自動車が移動の大部分を占めるので、今からでは難しいかもしれないが、自家用車による駅利用のための駐車場整備についてもご検討をお願いしたい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・駅利用については、広域的な視点が必要で、近隣では、今後、JR 端岡駅の改良も予定されている。坂出高松間で役割分担をしながら、お考えいただきたい。
委員 (坂出市)	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺の駐車場計画について説明させていただく。 ・現在駅南口第二駐車場で 40 台程度が確保されているが、こちらは 2 月初旬に廃止予定となっている。代わりとして、現在、旧市立病院跡地にそれを上回る台数の駐車場を整備中で、整備完了後に南口駐車場廃止となる。 ・北口の市民広場用地についても駐車場整備を予定しており、170 台程度の規模を計画しているが、現在のところ実施設計前である。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・そういう状況であれば安心した。 ・まだ未確定な部分もあるが、各方面にご協力いただければと思う。 ・地域内フィーダー系統の計画変更、地域公共交通利便増進実施計画の一部変更と合わせてお諮りしたいと思うが、いかがか？
(各委員)	(異議なし)
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは議題について承認されたものとする。

協議事項(5) その他

発 言 者	発言要旨
議長	<p>(特になし)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特にないということなので、これにて議事を終了したいと思うが、先ほどのバスロータリーの件も含め、これからまちが大きく変化することになるので、み

	<p>なさまには引き続きご協力・ご議論のほどよろしく申し上げます。</p>
--	---------------------------------------

《議事終了》